

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表 公表: 2024年 3月 18日

事業所名: ひばり学園

保護者等数(児童数)38 / 回収数 37 / 割合 97%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	37	0	0	0	・活動するスペースはもちろんです、場合によって休むことのできるスペースも確保されている。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	32	2	0	3	・登園する日によって参加人数が違うので多い日は職員の数が少ないと感じる。 ・安定して常に同じ職員の方々がいると下り大変で安心感があります。 ・あと1人くらい先生が増えると先生方も仕事がやりやすいようにみえます。 ・遊びや個々の様子を見て臨機応変に対応して下さる所があります。	・休職していた職員1名が1月に復職しました。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	33	3	1	0	・ベビーカーを置いて抱いて門を開けるのが大変。 ・トイレに子を寝かせておく所がない。	・門(柵)の外で座位保持椅子に乗りかえてもらえます。その後、ベビーカー等はエレベーターホールに停めてください。 ・オムツ替えにはユニバーサルシートやおふろマットを使ってもらえます。安全ベルトをしても動いて危ない時は、職員に声をかけてください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	36	1	0	0	・いつも清潔で気持ちよく利用できています。	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	36	0	0	1	・とても子供の事をよく理解してくれて子供に合わせて作成されています。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	33	1	0	3		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	34	1	0	2		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	28	8	1	0	・季節に応じた活動等よく考えて頂いていて楽しいです。	・繰り返して遊ぶことも大切にしています。遊び方や題材などは、工夫するよう努めます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	3	22	4		・併行通園の方が多く、また今のところ保護者様からのご要望はないので他園との交流はしていません。 ・障がいのない子どもと活動する機会としては、家族参加の行事もその機会と考えます。
保護者への 説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32	3	0	2	・しっかり時間をとって説明してもらえた。	・わかりにくい所があれば教えてください。説明させていただきます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	34	0	0	3		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)が行われているか	18	9	4	6	・特に行われていないが全員が同じ障害ではないので難しいのでは?	・それぞれのご家庭に合わせた支援ができるよう、面談や日常的に話をする中で行っています。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	36	1	0	0		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	34	1	1	1		面談は年1回ですが、必要な時にできますので教えてください。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	26	7	2	1	・お友達紹介ノートやLINEでも子ども同士の情報を伝え合う場があり良いと思う	・保護者様が集まる機会は運動会や親子遠足があり、ご家族で交流できます。 ・保護者会開催の進路勉強会では卒退園児の保護者様ともつながるようにしています。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	31	3	1	1		・保護者様からのご相談の多くは、まず担当保育士が伺い、他の職員や内容により多職種で対応します。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	34	1	0	1		

	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	28	4	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにのっている事もあるがおおまかなのでわしくはわからない ・コロナによる制限が緩むと共に行事等楽しめる企画を積極的にして頂き予定や連絡も早いので助かります 	<ul style="list-style-type: none"> ・在園児には毎月のおたよりや行事ごとのお知らせ等でお伝えしています。 ・ホームページにはひばり学園の概要を掲出しています。 ・ホームページの活用については今後も改良いたします。
	19	個人情報に十分注意されているか	33	1	0	3		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	31	2	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・医療福祉センターで策定しています。ご要望ありましたらご説明させていただきます。 ・火災発生時は月1回、地震発生時は年1回の訓練を行っていますが、登園曜日や時間等により全員に参加してもらうのは難しいですが、より多くの利用者様、保護者様に参加いただこうと思っております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	29	0	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・入園して数カ月しか経っておらず避難訓練の日に当たったことがないため 	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	37	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しむ事はもちろん苦手な事も頑張れるようサポートして頂いてます ・先生方が大好きです ・いろいろな活動に興味を持ち笑顔が増えた ・ひばりさんに行く？と聞くと楽しそうに“はい！”と答えます ・毎週とても楽しみにしている様子です 	
	23	事業所の支援に満足しているか	33	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・大変満足しています ・とても手厚く対応して頂いており大変満足しています ・苦手なことにもスモールステップで自信がつくよう支援して下さりありがたいです いつも温かく接して下さい感謝しています ・トイレトレーニング等、支援のおかげで大きく成長したと思います 	

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表： 2024年 3月 18日

事業所名：ひばり学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0		
	2	職員の配置数は適切である	4	1	・配置数は適切ですが、休職者1名の職務を分担して務めています。	・1月に復職しました。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	・バリアフリーにはなっていない。 ・階段の手すりが子どもの高さではない。	・医療福祉センターの駐車場には砂利や段差があり、園までの屋内階段の手すりは大人に合わせた高さです。 ・今後、法人として検討いたします。 ・危ない場所については注意喚起を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2	・振り返りをする余裕がない。 ・短期目標を設定し評価をしていかないと何も変わらない。	・課題を整理し共有します。 ・改善のための短期目標を設定し、評価をしていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	・振り返りをする余裕がない。 ・保護者様からの貴重なご意見を否定的に捉えず、業務の改善にいかしていく必要がある。	・保護者様のご意見から問題点を整理し、関連部署とも協議して改善に向けていかしていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	・保護者様からの評価に対して真摯に対応し、改善すべきである。	・ホームページに公開したことをおたよりに載せています。 ・園内掲示も考えていきます。 ・また評価内容についても、協議していきたいと思えます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3		・園としては、第三者による外部評価は行っていませんが、令和5年度・麦の穂学園で第三者評価を行っています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	・研修の機会が少ない、また事業所内での勉強会等がほとんどない。	・曜日や時間により参加できる研修は限られ、機会の確保は難しいです。 ・個人的に参加した研修や勉強会で得たことも共有できるよう努めています。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0		

適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		・発達検査の結果を保護者様から教えていただくことがあります。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	・同じあそびが続かないようにしている。 ・工夫もしているが、繰り返すことが大切であると思う。 ・個々の職員においては工夫しているかもしれないが、入園から卒園の長くて5年間の活動でみると固定化している。	・繰り返して遊ぶことで子どもの変化に気づくことができます。その姿を保護者様と確認し共有しています。 ・定番のあそびは、他施設のあそびも参考に見直しをし、工夫をしていきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	1	・集団生活の中で個々に合わせた対応をしているが、保育園と併行通園をしている児が多いので個別の課題に合わせた活動を多くしても良いのではないかと。	・個別活動については、療士や専門機関に相談しながら考えていきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	0	5	・必ず行うことは難しいが、気づいたことは伝えている。 ・必ずではないが共有はしている。 ・振り返りをする時間が持てない。 ・時間がとれない。 ・必ずというのは難しいがちょっとした時間を見つけて話をするよう努力はしている。	・気づいた時に、状況を知る職員間でその支援について話をしています。後に他の職員とも共有しています。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	・検証・改善の部分が少ない。	・日々の支援については保育記録に残しています。記録を振り返り検証することで、今の姿に合わせた支援ができるよう、改善につなげています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0		
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1		・関係者や関係機関と情報共有をし、連携して支援ができるよう努めています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	1	・もう少し保育園と連携し、保育園での課題を療育でいかしていく工夫も必要か。	・関係者会議等で情報交換をし連携して支援ができるよう努めています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	0		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	・来年度から訪問活動を増やすのでもっと情報共有が図れるのではないか。	・療育やリハビリを見に来てもらったり、保育所等に行ったり、互いに出向いて情報を共有しています。連携を続け、それぞれでの支援を考えていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		・相談支援専門員や関係機関に参加している職員を介してのつながりはあり、研修等の機会が得られています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	3	・交流を望む方は個々で行っている。 ・併行通園している子は交流している。 ・園としてはしていない。	・利用者様の多くが併行通園をしているので、保育所等との交流は今のところ行っていません。 ・保護者様からのご要望があれば検討していきます。
	29	(自立支援)協議会児童部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	0		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	2	・職員個々の経験に任せるのではなくプログラムとして構築して行く必要があるのではないか。	・保護者様の困りごと等については、医師や療法士・心理士と連携して、そのご家族に合わせた支援をしていきます。 ・ケース会議や面談記録等で、共有しています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1	・視覚的なツールを増やしても良いのではないかな。	・一人一人に合わせたツールについては、専門機関や療法士と相談し、考えていきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5	・コロナもあり難しい。 ・コロナ等の感染症対策も考える必要があるため実施が難しいところがある。	・今後、検討していきたいと思っています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1	・火災想定以外の訓練もできればよいと思う。	・火災や地震以外の発生を想定した訓練が行えるよう、検討していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	5	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。